

令和元年度第4回三重県行財政改革推進本部本部員会議概要

- 1 開催日時：令和元年10月21日（月）9:20～9:55
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり（●議題提出部局説明）

議題1 スマート改革の検討の進め方について

●喜多副部長兼コンプライアンス総括監（資料1に基づき説明）

- ・スマート自治体の実現、新しい技術を活用した一連の取組等について、「スマート改革」として総合的に検討し、その成果を「みえスマート改革宣言（仮称）」として年度内に取りまとめ、令和2年度からの本格実施をめざす。
- ・具体的な進め方として、先進的な事例紹介など、スマート改革の先頭に立つ各部局長の意識の向上につながる取組を進めるとともに、若手・中堅職員を中心とする有志での「スマート改革検討チーム」において、今後の方向性等について全庁的な視点により検討し、実行まで見据えた具体的な提言を行うこととする。
- ・「みえスマート改革宣言（仮称）」については、各部局における令和2年度当初予算の内容をふまえてとりまとめるものであるため、スマート自治体関連予算の要求について、各部局において引き続き積極的な検討をお願いする。
- ・スマート改革検討チームは、メンバーを固定せず行っており、その議論が全庁的な視点で総合的に行われるよう、希望する職員の参加について業務として認めていただくようお願いしたい。

議題2 業務改革に関する講演について

●紀平総務部長

「スマート改革」を進めていくにあたり、改革の先頭に立つ各部局長の意識・理解の向上につなげていくため、デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザー合同会社 地域産業支援室 シニアヴァイスプレジデントを務められている「佐藤公則」様と、経済産業省を経て、現在は、同社 地域産業支援室 シニアアナリストを務められている「吉田直樹」様をお招きし、業務改善の経験をふまえ、どのような工夫により「実行」に移すことができたのか、また得られた効果やメリットについて、お話をいただく。

（講演）

☆鈴木知事

- ・個人に仕事を帰属させるのではなく、チームで仕事をするという前提のもと、いかに素早く効率化すべきか、具体的にどうすべきかというお話だった。めざすべき方向性であり、良いヒントを与えていただけたと思う。
- ・業務改善の必要性は重々承知だと思うが、いかにして実行していくかについて、

模索をしてほしい。いきなり大きいことを目指すのではなく、小さいことの積み重ねが重要であり、まずは取組を始めてほしい。